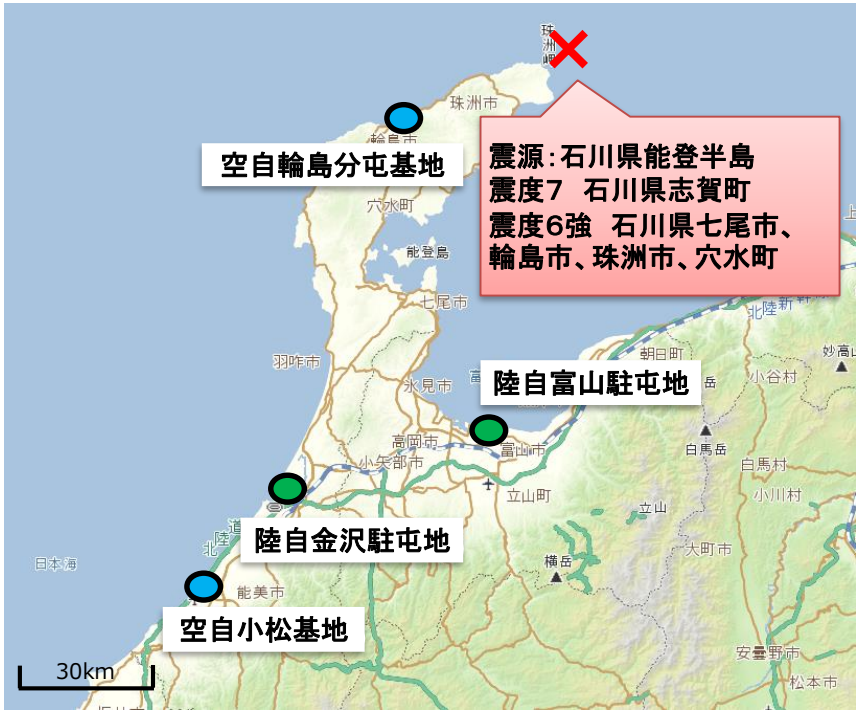


全般	○ 令和6年1月1日（月）1610頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7（M7.6、深さ約16km）の地震が発生。 ○ 同日1645、石川県知事から陸上自衛隊第10師団長（守山）に対して災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 2日（火）1040、陸自中部方面總監を長とする統合任務部隊（JTF）を編成（陸海空自衛隊約10,000名態勢）。 ○ 3日（水）の総理からの指示を踏まえ、1個連隊（約800名）を投入し、避難所におられる被災者の方々が、今、何が欲しいのか具体的な内容をお聞きし、それを速やかにお届けするといった、被災者のニーズにきめ細かく寄り添った生活支援活動を行う予定。
活動態勢	【陸上自衛隊】 約2,700名 航空機19機 【海上自衛隊】 約1,100名 艦艇8隻 航空機3機 【航空自衛隊】 約760名 人員搜索犬12頭 航空機11機 【合計】 約4,600名 艦艇9隻 人員搜索犬12頭 航空機約30機
連絡員の派遣状況	○ 全12箇所に計34名の連絡員（LO）を派遣し情報収集活動を実施。
活動実績（延べ）	人命救助：122名 輸送支援：糧食約5000食、飲料水約6000本、毛布約1150枚 等 給水支援：約67t 道路啓開：県道1号、52号及び57号の一部区間



<3日（水）の活動>

【人命救助活動】

- ・空自人員搜索犬×4頭による搜索活動を実施
- ・陸自第14普通科連隊が珠洲市狼煙町にて2名を救助し、珠洲病院へ搬送
- ・空自新潟救難隊のUH-60×1機が患者等6名を金沢駐屯地へ搬送
- ・陸自中部方面総監部が珠洲市若山町において1名を救助し、珠洲病院へ搬送
- ・陸自第35普通科連隊が中屋一体の孤立住民7名中2名を航空機で4名を高機動車で搬送を実施

【輸送支援活動】

- ・陸自中部方面航空隊のUH-1×1機により輪島市役所へ水175リットルの輸送を実施
- ・海自第7護衛隊の護衛艦「すずなみ」搭載のSH-60×1機により災害救助物品（毛布140枚、ポリタンク×9個）の輸送を実施
- ・海自第14護衛隊の護衛艦「あさぎり」搭載のSH-60×1機により消防官約40名を野々江総合公園へ輸送を実施
- ・海自第14護衛隊の護衛艦「あさぎり」が狼煙港及び高屋港へ物資輸送を実施（パン25箱、水10箱）
- ・海自第1輸送隊の輸送艦「おおすみ」が舞鶴に入港し、重機等を搭載

【給水支援活動】

- ・珠洲市において給水支援活動を実施（陸自第14普通科連隊、第35普通科連隊、空自第6航空団）
- ・志賀町において給水支援活動を実施（陸自第35普通科連隊）
- ・能登町において給水支援活動を実施（陸自第14普通科連隊、第35普通科連隊）
- ・穴水町において給水支援活動を実施（陸自第14普通科連隊、第35普通科連隊）
- ・七尾市において給水支援活動を実施（空自第6航空団、高射教導隊）

【道路啓開活動】

- ・県道1号、52号及び57号において陸自第14普通科連隊が人命救助に資する道路啓開活動を実施

【情報収集活動】

- ・海自第3航空隊のP-1×1機により被害情報収集活動を実施

活動の様子



倒壊家屋からの救助活動



輸送艦「おおすみ」への重機搭載



陸自第35普通科連隊による住民避難支援



搜索活動に向かう空自人員搜索犬



海自艦艇「あさぎり」による消防隊員輸送



陸自第35普通科連隊による救助活動